

**会議結果** (会議の様子は、県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。)

<p><b>2月</b></p> <p>16日 本会議 議案52件上程</p> <p>22日 本会議 代表質問(2名)、議案に関する質疑(1名)</p> <p>24日 本会議 一般質問(5名) 予算決算常任委員会 (生活文化環境森林・健康福祉病院・ 県土整備企業)分科会 議案の審査</p> <p>26日 本会議 一般質問(4名)、議提議案1件上程 予算決算常任委員会 (政策総務・防災農水商工・ 教育警察)分科会 議案の審査</p> <hr/> <p><b>3月</b></p> <p>2日 本会議 一般質問(4名) 予算決算常任委員会 議案の審査</p> <p>3日 本会議 議案1件可決、議案19件上程</p> <p>4日 本会議 一般質問(3名)</p>	<p>8日 本会議 議案に関する質疑(5名)</p> <p>9日 予算決算常任委員会 予算議案・予算関連議案にかかる総括質疑</p> <p>10~15日 各常任委員会・分科会 議案等の審査、所管事項の調査</p> <p>17日 健康福祉病院常任委員会・分科会 議案の審査</p> <p>18日 予算決算常任委員会 議案の審査 予算決算常任委員会政策総務分科会 議案の審査 健康福祉病院常任委員会・分科会 議案の審査</p> <p>23日 本会議 議案70件可決、議提議案1件可決、 請願3件採択、意見書8件可決</p> <p>29日 本会議 議案11件上程・10件可決 常任委員会・分科会 (政策総務・県土整備企業・教育警察) 議案の審査 予算決算常任委員会健康福祉病院分科会 議案の審査 予算決算常任委員会 議案の審査</p> <p>31日 本会議 議案1件可決 予算決算常任委員会教育警察分科会 議案の審査 予算決算常任委員会 議案の審査</p>
---	---

**可決した意見書**

- より良質な歯科医療の実現を求める意見書
- 鉄鋼需要の喚起等につながる政策の実現を求める意見書
- 持続的な水産業を確立するための水産政策を求める意見書
- 子ども手当の財源の地方負担に慎重に対処することを求める意見書
- 幼児教育及び保育サービスの充実を求める意見書
- 核兵器の廃絶及び恒久平和の実現を求める意見書
- 農家の経営基盤の強化を求める意見書
- 改正国籍法の適切な運用を求める意見書

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果、請願・意見書の内容は県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

**新県立博物館の整備について**

第1回定例会では、新県立博物館の用地取得費を含む平成22年度三重県一般会計予算が提出されました。3月8日の全員協議会では、執行部から新県立博物館の整備に関する県民アンケートの実施結果について説明があり、県民の約76%が賛成しているとの説明に、「建設すべきという積極的な意見ではないのでは」と疑問視する声や、「県民への説明が不足している」などの意見が出ました。3月10日、生活文化環境森林常任委員会および分科会において、詳細設計(建築)、今後の施設整備スケジュールなどについて調査・審査を行いました。また、県民アンケートの結果を十分に分析し結論を出すこととし、予算の採決を12日に先送りしました。

3月12日の分科会では、県民アンケート結果をさらに分析した資料が提出され、再度議論を行った結果、建設について知らない県民が多いことから、広く周知し、県民に理解を得ることなどの附帯決議を行うべきとしたうえで、関連予算を可決すべきものと決定しました。その後、3月18日の予算決算常任委員会の審査の結果、附帯決議を行うとともに、関連予算を可決すべきものと決定し、3月23日の本会議において、予算を原案のとおり可決しました。

**県立病院改革について**

総合医療センターの地方独立行政法人化や志摩病院への指定管理者制度導入などの県立病院改革に関連する予算および条例案の提出があり、代表質問や一般質問、健康福祉病院常任委員会・分科会などでは各病院の改革の方向や、地元住民への説明、職員の身分などについて議論を行いました。そのような中、一部の議員から、基本方針および指定管理条件(骨子案)の一部修正を求め、関連予算を一部減額する修正案が、予算決算常任委員長に提出されました。

3月17日の健康福祉病院常任委員会・分科会では、県当局から、総合医療センターの地方独立行政法人への移行は、特定地方独立行政法人化を基本に関係機関と調整を行うとともに、志摩病院の指定管理条件(骨子案)に「産婦人科や小児科への常勤医師の配置」を盛り込むなどの修正提案が示されました。これを受け、修正案の撤回の申し出がありました。18日の同委員会・分科会、さらに予算決算常任委員会では、修正案に対する一定の評価を行い、審査の結果、予算および条例案を可決すべきものと決定し、23日の本会議で可決しました。